

MICRO COMPUTER SYSTEM FISHING REEL



Miya EPOCH

リモートコントロール仕様

COMMAND X-9R

取り扱い説明書

◇ご使用前に必ずお読みください◇



MODEL CX-9R



ミヤエポック

URL <http://www.miyamae.co.jp/>



Miya Epoch

COMMAND X・9R

このたびはミヤエポック
COMMAND X・9Rを
ご購入いただき、誠にありが
とうございます。このリールの機
能を十分に発揮させ、また永年
で愛用いただくためにも、この
取扱い説明書をお読みくださ
い。

目次/CONTENTS

COMMAND X・9R仕様	2P
各部の名称	3・4P
アンテナの取付け方法	5P
電源の接続	5P
糸巻き方法	6P
ドラッグ調整	6P
主な機能及び操作	7・8・9・10P
分解図	11・12P
ご使用上の注意及びお手入れ方法	13P

Miya Epoch COMMAND X・9R 仕様

項目	仕様
瞬間最大巻上力	スプール最小径での瞬間最大 490.3N (50kg)
糸巻量 (最大)	(ミヤNEWディーブセンサー) 10号-1,600m, 12号-1,400m, 15号-1,100m, 20号-800m, 25号-600m
巻上方式	(3ウェイ) 電動、手巻、電動+手巻
電源	D.C-12V専用 (D.C24Vは入電禁止制御)
手巻ギヤ比	1 : 3.18
ドラッグ耐カ	245.1N (25kg)
巻取り速度/分 (無負荷)	140m/分
機能	船べり停止、深サ記憶、手動巻取り、自動巻取り、自動送付、スローストップ・スロースタート、無段変速、+-逆接防止、過負荷停止制御、バッテリー低下検出、過電圧検出、電源切断時バックアップ
液晶表示	メートル、回転数、深サ記憶、バッテリー電圧低下警告、道糸の巻取方向/送り出し方向を表示
ハンドル	ラチェット切換えハンドル
使用温度	-10℃~+80℃以内
バックラッシュ防止	音ブレーキ
リール自重	4.4kg (本体のみ)
付属品	電源コード3m、リモコン、アンテナ2個、9V電池、リモコンストラップ

※本仕様は、改良等のため予告なく変更する場合があります。

MADE IN JAPAN

各部の名称 COMMAND X・9R

COMMAND X・9R 各部の名称



COMMAND X・9R リモコン各部の名称

リモコン仕様

寸法: 160mm×62mm×24mm
(本体のみ)

自重: 120g (電池含まない)

使用温度: -20°C ~ +60°C

使用電源: 9V電池 (006P形)

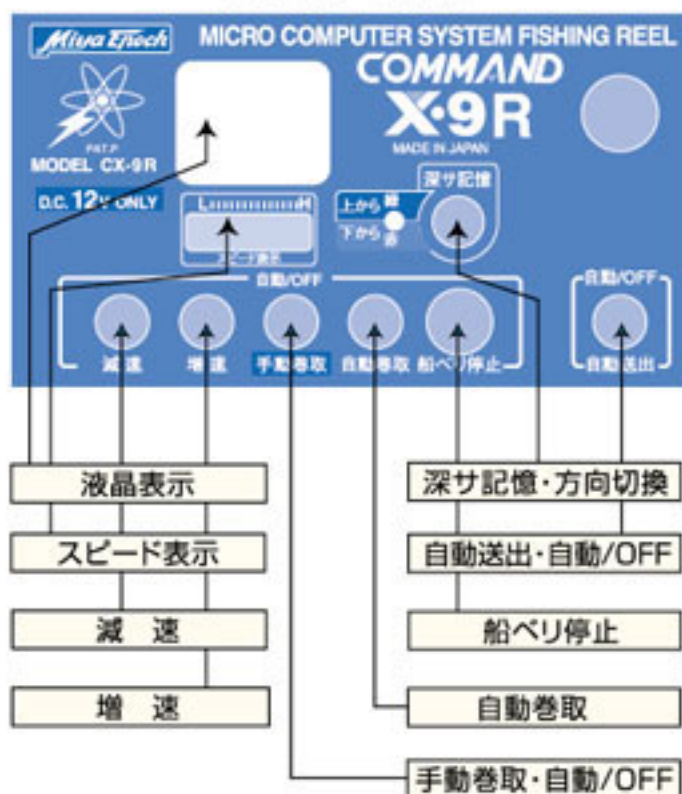
(マンガン電池: 約8h×3日間)



- 電源ランプが点滅した時は電池残量が少なくなっています。電池を取り換えて下さい。
- 電池を取り換えの際は、方向を間違えないようにして下さい。ショートがあります。
- 電池を取り換えの際は、塩や水気の無いところで交換して下さい。
- 電池は市販の「9V電池 (006P型)」を使用して下さい。
- リモコンを落としたり、海水につけたりしないで下さい。

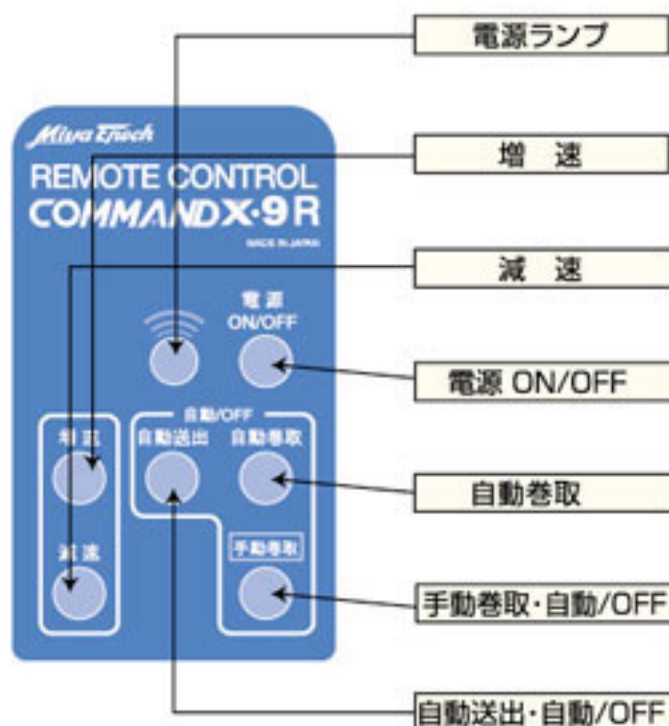
COMMAND X・9Rコントロールパネル各部の名称

スイッチパネル



COMMAND X・9R リモコンコントロールパネル各部の名称

スイッチパネル



操作方法

アンテナの取付け方法

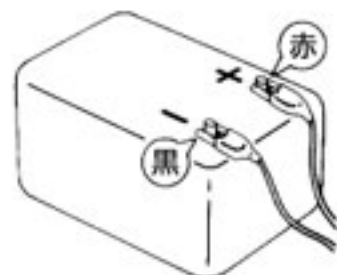
1 アンテナ部説明

- リモコンを使用する時はアンテナを取付けて下さい。
- アンテナは折ったり曲げたり引っ張ったりしないで下さい。
- 障害物、違法電波及び妨害電波がある時は、リモコンを使用しないで下さい。
- アンテナの接点に塩や水気がつかないようにして下さい。
- リモコンを使用しない時や保管時は、アンテナキャップをして下さい。
(アンテナ受部に海水が入らないようにして下さい。)

電源の接続

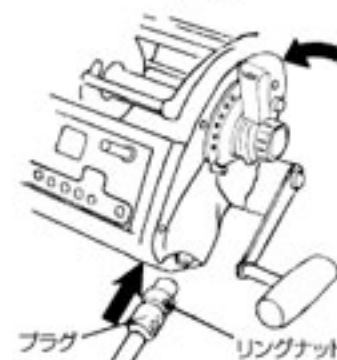
2 電源コードをバッテリーに接続します。

- 電源コードをバッテリー (DC・12V・17AH以上) の
- ⊕に赤カバーのクリップを
 - ⊖に黒カバーのクリップを接続してください。
- (バッテリーは、なるべく海水のかからない安定した場所に置きましょう。)



3 電源コードをリールに接続します。

- リールのコントロールレバーを手前に引き、スプールをフリーにしてから、電源コードのプラグをリールのコンセントに接続して、リングナットを締め付けしっかりと固定してください。



4 電源が正しく接続されると、液晶が下図を表示します。



ローラーアームを降ろした時
図A メートル表示



ローラーアームを上げている時
図B 回転数表示



警告

本機は直流12V仕様です。他の電源(交流100V、200V等)に接続しますと、焼損して使えなくなるだけでなく、事故の原因ともなります。

DC・12V仕様はDC・24V入電禁止制御

コンピューターの制御回路に対し、誤作動のないよう設計していますが、ご使用の電源の状態、場所等によりエラー表示 **Err** する場合があります。
船べり停止スイッチを押すと **0000** にもどり使用できますが、そのときは再度電源コード及び電源に異常が無い確認後、使用してください。

糸巻き方法

① 道糸をレベルウィンドに通し、スプール軸に2、3回巻いて、糸止めに掛けて結びます。

② 電源を接続します。

ローラーアームを上げて巻いた時、回転数表示〔上記（図B）〕、ローラーアームを降ろして、船べり停止スイッチを押して巻いた時はメートル表示〔上記（図A）〕となります。

③ コントロールレバーを起こします。

④ 手動スイッチか、ハンドルで少し巻きます。

表示は 000、999、998、とマイナス表示します。

⑤ 道糸に適当な負荷をかけて、自動巻取スイッチを押せば連続巻取ができます。

スピードが一時停止の位置の時、自動巻取はできません。



注意

長時間連続回転させますと、モーター収納部が熱くなりますので、ヤケド等に注意ください。



注意

糸が勢いよく出ている時、スプールの上に指を置いたり、糸をつかんだりしますと、糸で指を切ったりヤケドの恐れがあります。



警告

糸をリードするレベルラインの所に、指を挟まれてケガをする恐れがあります。

注意

道糸はスプール径より太くならない様に巻いてください。過剰に巻きますとローラーアームが上がった状態になり、回転数表示となります。

ドラグの調整

ハリス切れやバラシを防ぐために、ドラグの調整を行ってください。

① コントロールレバーを中間まで移動させます。（図1）

（残りは大物が釣れた時のために、余裕を持たせておきましょう。）

② 道糸を引きながら、ドラグを回して調整してください。（図2）

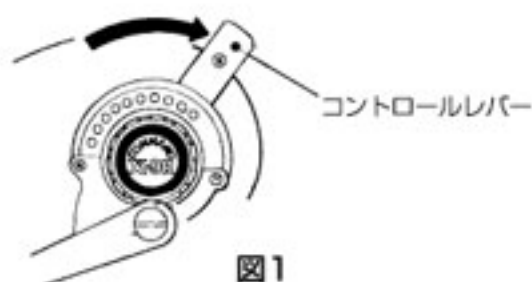


図1

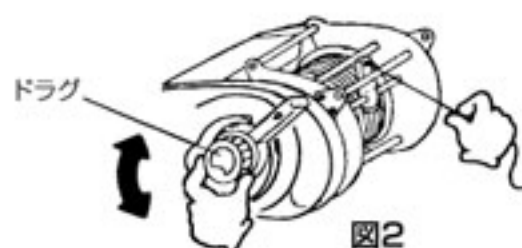


図2

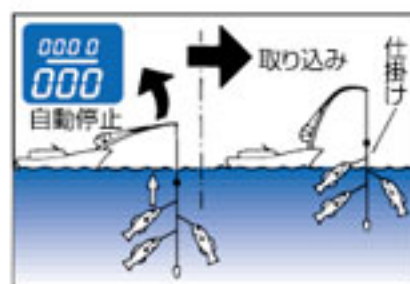
主な機能及び操作

1 船べり停止

- 巻上げ時、船べりで自動停止させたい場合(000)の設定。
- 回転数表示からメートル表示の切替え。
- エラー表示時のリセット。

降ろした仕掛けを巻上げて、魚を取り込んだり、餌の取り替えに、仕掛けの取り込みやすい位置で船べり停止スイッチを押して液晶ファインダーの表示数を000にして仕掛けを降ろせば、次の巻上げ時は、手動巻取、自動巻取いずれの場合でも、自動的に取り込みやすい位置で停止します。

船べり停止位置は道糸の伸縮、獲物の引きなどによって多少異なる場合がありますが、その場合は再度停止位置を決めて、船べり停止スイッチを押してください。



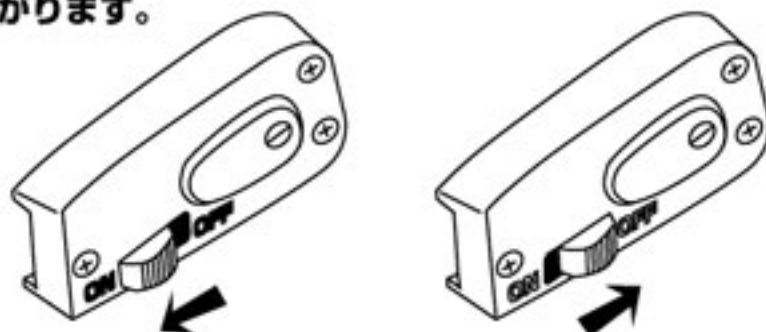
2 自動送出操作

- ラチェット切換ハンドルのスイッチを「OFF」にします。
- ドラグを中間部まで移動させ、スピードコントロールを設定し、送出スイッチを押して放せばスタートします。(スピードコントロールについては9ページを参照して下さい)

注意 スピードが速すぎますと、バックラッシュになりますのでご注意ください。

- 自動送出中に再度押せば、停止しクラッチを反転させる為に少し巻取り方向に回転し停止します。(停止時動作:停止→巻戻し→停止)

注意 クラッチが入りにくい時は手動巻取りスイッチを数秒押してスプールを巻くとながります。



3 手動巻取 自動/OFF

- 押している間モーターが回転し放すと停止。
- 自動巻取及び自動送出中に押すとモーターが停止。
- クラッチが入っていない時に押すとクラッチがつながります。
- 深サ記憶を下(海底)から設定している場合は、押している間モーターが回転し設定位置で停止。

4 自動巻取

- 液晶表示が(000)又は、スピード表示が一時停止位置以外の場合に押し放せば、船べり停止位置(000)までモーターが連続回転する。
- 自動巻取中再度押し放せば停止。
- 自動送中押し放せば停止。
- 深サ記憶を下(海底)から設定している場合は、押し放せばモーターが回転し設定位置で停止。

5 深サ記憶

●自動棚停止

フリー

記憶させたい棚で深サ記憶スイッチを押せば、その深さを記憶し液晶にMEMO表示します。変更する場合は、変更したい棚で再度スイッチを押してください。記憶を解除する場合は、船べり停止位置(カウント000)か、記憶させている同じ深さ(カウント)で深サ記憶スイッチを押すと液晶のMEMO表示が消え記憶を解除します。

自動送出

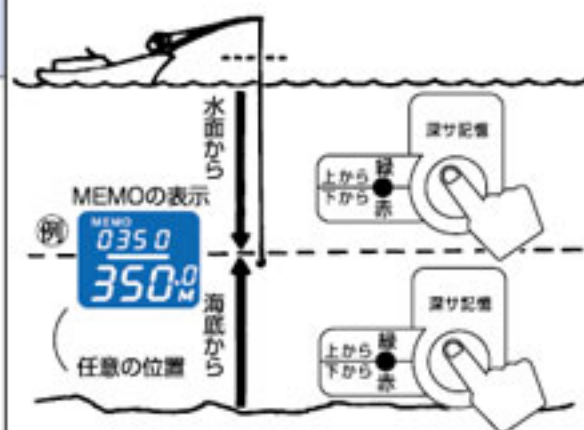
自動送出を使った深さ記憶も出来ます。その際、棚停止後クラッチを反転させる為に少し巻取り方向に回転し停止します。(自動送出による深さ記憶：停止→巻取り→停止)

6 方向切替

深サ記憶を設定し方向切り替えスイッチを押すことにより、深サ記憶停止位置を上(水面)から下(海底)からかの方向切替ができます。
(下図を参照してください。)

深サ記憶停止位置(棚)の 水面から 海底から の切り換え

このスイッチはモーター停止状態で押すと記憶した棚での停止を上からか、下からかの切り換えができます。方向は、赤色のLED点灯は下から(海底から)、緑色のLED点灯は上から(水面から)により表示します。



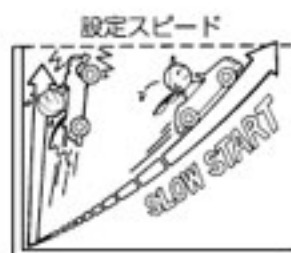
7 スピードコントロール

- 1.自動巻取又は、自動送出中に①減速か②増速スイッチを押し続けることにより自在に無段変速することができます。
- 2.変速は、低速から最高速までをコントロールパネルのスピード表示ランプで表示します。（下記参照してください。）
- 3.速度変化に伴い、巻上げ力は巻上げる負荷に対し一定のトルク制御を自動で行いません。（巻上げ負荷が大きくなるとモーターのスピードを上げてトルクをアップさせ、負荷が軽減すると元に戻ります。）



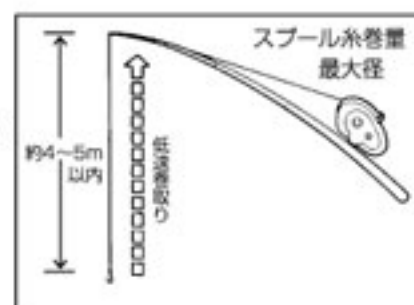
スロースタート・スローストップ制御

自動巻取スイッチを押してはなしますと、スピードコントロールで設定されている速度まで最低速度よりスロースタートし、船べり停止位置の1m手前から減速・スローストップします。



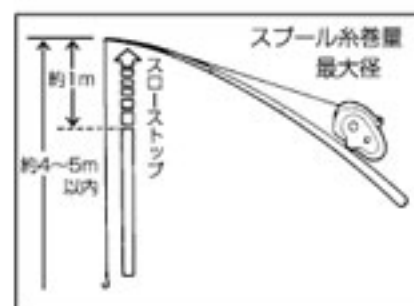
■巻込み防止制御

スプール糸巻量が最大径の場合約4～5m手前で巻き取った時は、最高スピードに設定されていても低速で巻取り巻き込みを防止する。



■スローストップ制御

自動巻取中、船べり停止の約1m手前から巻き取り速度を除々に減速し、スローストップします。



音ブレーキノブ

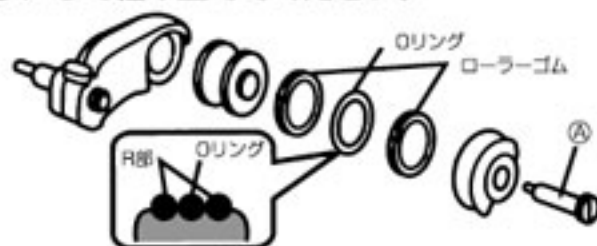
仕掛けを投入時のバックラッシュ防止にお使い下さい。

メーター表示についてのお願い！

- ナイロン、ワイヤー（コーティングワイヤー含む）を、道糸としてご使用になりますと表示メーターに誤差が発生致します。
- 釣行後、ローラー回転部に塩分等が付着していますので必ずローラー部を真水で洗ってください。
- 道糸はスプール径より太くならない様に巻いてください。
過剰に巻きますとローラーアームがアップした状態になり正しい位置で道糸に接触しない為、回転数表示になる場合が有ります。
- 船べり停止位置は道糸の伸縮、獲物の引きなどによって多少異なることがあります。その場合は、再度停止位置を決めて船べり停止スイッチを押してください。
- 本機はコンピュータ等の制御回路に対し万全を期した設計を行ない誤動作等のないように設計していますが、ご使用の電源状態、場所等により **Err** 表示する場合があります。その時には再度電源を確認してください。（P.5参照）

ローラーゴム摩耗時の取替え方法

- ①のネジをマイナスドライバーではずしローラー部を抜きますとローラーゴム及びOリングがはずせます。
- ローラーゴムをはめる際、R部及び順序は下図のようにして組み立ててください。

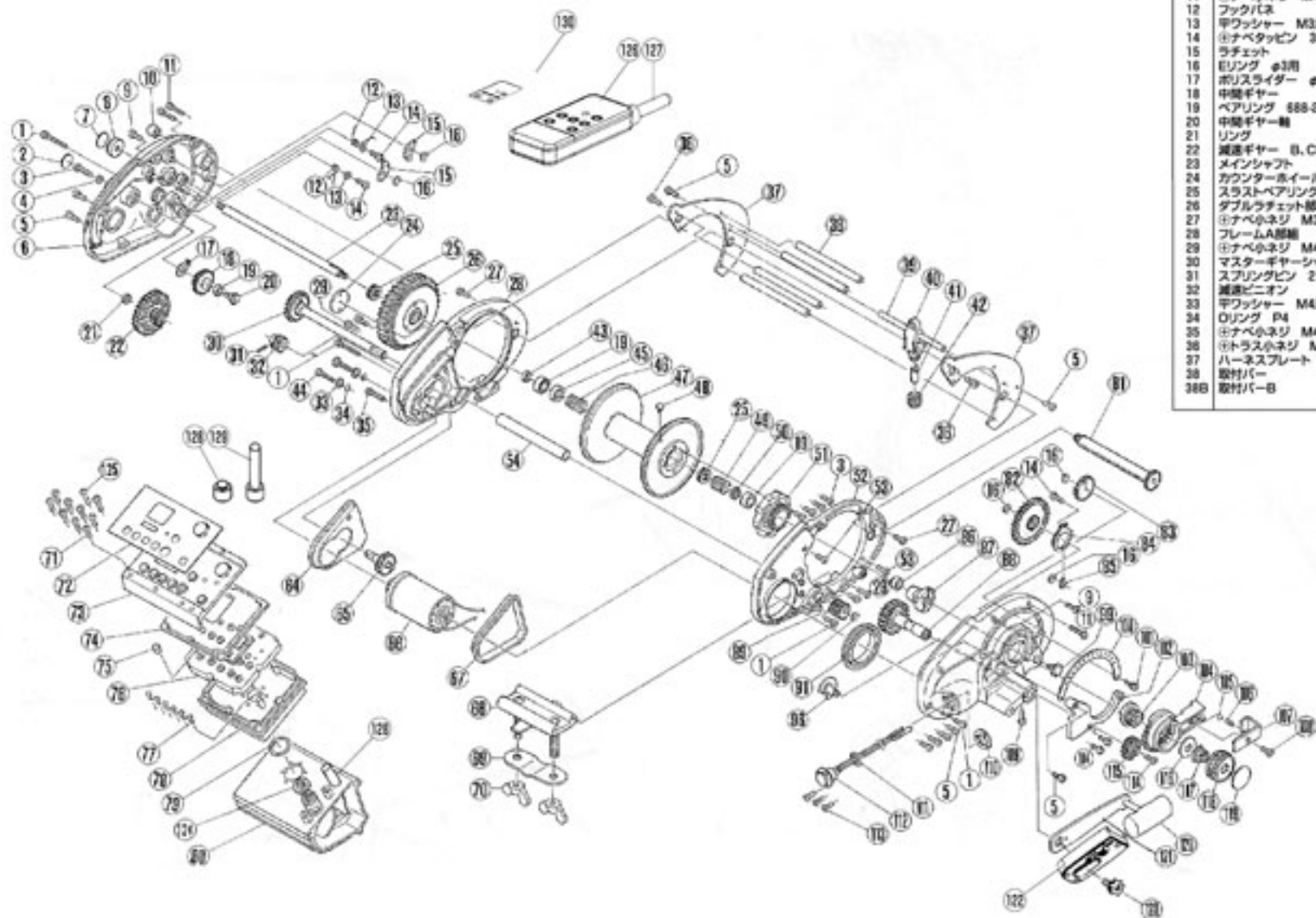


つめの取り替え方法



ガイドホルダーのフクロナットをはずし、レベルラインを抜き取ります。

MICRO COMPUTER SYSTEM FISHING REEL
COMMAND X-9R

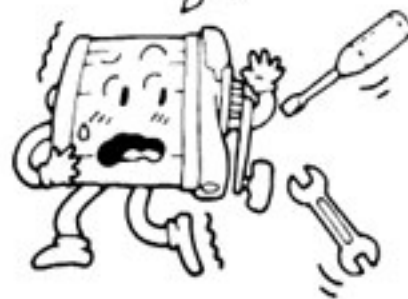
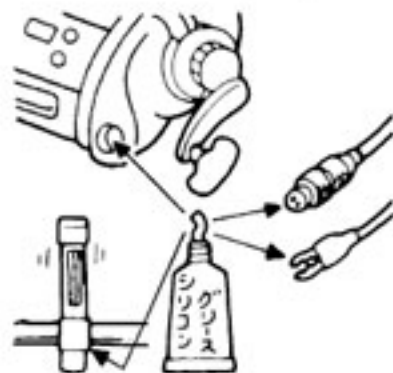



番号	部品名	数量	番号	部品名	数量
1	⑤ナベ小ネジ M4x30	4	39	ガイドバー	1
2	図板D	1	40	ガイドホルダー	1
3	⑤ナベ小ネジ M3x8	6	41	レベライン	1
4	平ワッシャー M3用	1	42	レベラインナット	1
5	⑤ナベ小ネジ M4x12	8	43	スリーブ	1
6	本体(左)部組	1	44	⑤トラス小ネジ M4x18	2
7	図板C	1	45	カラーB	1
8	ロックナット	1	46	コイルバネA	1
9	⑤ナベ小ネジ M4x18	2	47	スプール	1
10	フクロナット	1	48	魚ドメ	1
11	⑤ナベ小ネジ M4x25	2	49	コイルバネ	1
12	フックバネ	2	50	フランジカラーA	1
13	平ワッシャー M3用	2	51	スプールのギヤ	1
14	⑤ナベタッピン 3x8	3	52	フレームB部組	1
15	ラチェット	2	53	⑤ナベ小ネジ M4x15	2
16	ERリング φ3用	5	54	マスターギヤ-軸ハイブ	1
17	ボリスライダ φ13	1	64	防水バッキンA	1
18	中間ギヤ	1	65	減速ギヤ	1
19	ベアリング 588-2RS	4	66	モーター部組	1
20	中間ギヤ-軸	1	67	防水バッキンB	1
21	リング	1	68	スタンド	1
22	減速ギヤ B, C部組	1	69	サポートプレート	1
23	メインシャフト	1	70	緩ナット M8	2
24	カウンタホイール	1	71	⑤ナベ小ネジ M2.5x12	8
25	スラストベアリング	2	72	図板A	1
26	ダブルラチェット部組	1	73	コントロールパネル部組	1
27	⑤ナベ小ネジ M3x15	2	74	バネバッキン	1
28	フレームA部組	1	75	スイッチボタン	6
29	⑤ナベ小ネジ M4x18	3	76	コントロール基板部組	1
30	マスターギヤ-シャフト部組	1	77	⑤サラ小ネジ M2.5x6	6
31	スプリングピン 2x10	1	78	コントロールボックス	6
32	減速ピニオン	1	79	Oリング S35	1
33	平ワッシャー M4用	2	80	モーターカバー部組	1
34	Oリング P4	2	81	トラバースカム部組	1
35	⑤ナベ小ネジ M4x20	1	82	レベラインギヤ-②部組	1
36	⑤トラス小ネジ M4x12	2	83	センターギヤ-部組	1
37	ハーネスプレート	2	84	音プレーキバネ	1
38	取付バー	3	85	音プレーキツメ	1
38B	取付バー-B	1	86	スプーサーリング	1
			87	ドラッグカムA	1
			90	ERリングφ6用	1
			88	駆動ギヤ部組	1
			89	駆動ピニオン	1
			91	防水バッキンC	1
			99	レバーピンB	1
			100	レバーガイド	1
			101	レバーストップネジ	1
			102	サイドプレート	1
			103	ドラッグカムB	1
			104	クラッチレバー	1
			105	SUSボール 4φ	1
			106	バネF	1
			107	レバープレート	1
			108	⑤ナベタッピン 3x8	1
			109	⑤ナベ小ネジ M2.5x8	1
			110	メタコンセットプレート	1
			111	Oリング S14	1
			112	メタルコンセント	1
			113	⑤サラ小ネジ M2x20	3
			114	⑤ナベ小ネジ M3x12	3
			115	クラッチギヤ	1
			116	ドラッグプレート	1
			117	ドラッグスプリング	1
			118	コントロールノブ	1
			119	図板B	1
			120	ハンドルつまみ	1
			121	リモコンハンドルアーム部組	1
			122	ハンドルケース	1
			123	RCラチェットネジ	1
			124	スイッチゴムA	1
			125	⑤ナベ小ネジ M2.5x15	2
			126	リモコン	1
			127	アンテナ	2
			128	アンテナ受部	1
			129	アンテナキャップ	1
			130	リモコン部組	1

使用上のご注意及びお手入れ方法

いつまでも快調にご愛用いただくため、次の事にご注意ください。

- ①電源は正しい指示電圧でご使用ください。
DC-12V専用(DC-10.5~13.8V)
- ②落下等急激なショックを与えないでください。
- ③本機は日常生活防水ですので、使用後は真水をかけて汚れや塩分を洗い流して、柔らかい布で拭き取ってください。
- ④リールのコンセント部、コードのプラグ部、クリップ部、レベルwind部、アンテナ部は塩分及び水分をきれいに拭き取り、添付のグリースを塗ってください。
- ⑤シンナー等の有機溶剤系のものでの、洗浄お手入れはお止めください。
※市販のCCRスプレー潤滑油は、鉱物性のものが多いので特にご注意ください。
- ⑥指定の注油部(レベルwind・電源コンセント)以外の本体内部には、注油の必要がありません。
- ⑦本機はコンピュータ等の制御回路が内蔵されておりますので、お客様ご自身での分解組立はご遠慮ください。
- ⑧リールを使用しないときはドラグノブを緩め、
スプールをフリーの状態にして保管してください。



 株式会社 **ミヤギ**

ミヤエポック部 〒577-0023 大阪府東大阪市荒本1-2-32 TEL(06)6782-1010
東京営業所 〒144-0051 東京都大田区西蒲田5丁目27番5号 TEL(03)3731-7100